

# 第三回清華大学・北京大学・筑波大学三大学合同セミナー

## プログラム

9月19日(土)

午前 9:00~12:00 司会: 潘 鈞 (北京大学)

9:00~9:10 ご挨拶

李 奇楠 (北京大学外国語学院日本語文化学部副学部長)

青木三郎 (筑波大学人文社会科学部研究科教授・IFERI 運営  
委員会委員長)

9:10~11:30 基調講演 (大会発表)

青木三郎「東風解凍—中日共同研究の展望—」(筑波大学)

張 威「Modality 文中形式に関するとらえ方および研究の意義—中国語  
副詞“就”と日本語副詞『も』を例として—」(清華大学)

彭 広陸「表出文の位置づけ—中国語との対照を兼ねて—」(北京大学)

昼食 12:00~14:00 (暢春園)

午後(前半) 14:00~16:00

第1セッション (教員第1分科会)

座 長: 沼田善子 (筑波大学)

森 芳樹「モダリティとしての未来」(東京大学)

杉本 武「コーパスからみたモダリティ—「かもしれない」と「可能性があ  
る」—」(筑波大学)

竹沢幸一「「モーダル名詞+コピュラ」構文の統語構造」(筑波大学)

馬 小兵「方向を表す複合助詞について—『に対して』『にむかって』『にむ  
けて』を中心に—」(北京大学)

(1人当たりの持ち時間は30分、発表:20分、質疑応答:10分)

休憩 16:00~16:20

午後(後半) 16:20~18:20

第2セッション (教員第2分科会)

座 長: 池田 潤 (筑波大学)

小野正樹「意見文に見られるモダリティ表現について—新聞記事の社説・投  
稿意見文を対象として—」(筑波大学)

沼田善子「とりたて詞「くらい」の意味とモダリティ」(筑波大学)

梁 爽「テキストに基づいた『笑い』の構造に関する一考察」(清華大学)

田川拓海「否定命令の類型論から見た日本語」

(1人当たりの持ち時間は30分、発表：20分、質疑応答：10分)

夜 懇親会 (全体) 18:45~21:00 (芸園・蔚秀廳)

9月20日(日)

午前 9:00~10:00

**第3セッション (教員第3分科会)**

座長：馬小兵 (北京大学)

佐々木勲人「文末助詞“了”のモダリティ機能」(筑波大学)

渡邊淳也「時制からモダリティへ：分岐的時間による反実仮想文の説明」(筑波大学)

(1人当たりの持ち時間は30分、発表：20分、質疑応答：10分)

休憩 10:00~10:30

午前 10:30~12:00

**第4セッション (学生第1分科会)**

座長：樊穎 (北京大学)

楊文江「エヴィデンシャリティの類型論的研究と日本語の『証拠性』表現」  
(北京大学)

張恵芳「自然会話における「デハナイカ」の表現機能について」(筑波大学)

烏蘭娜「モダリティとしての『ではないか』と『のではないか』の使い分け」  
(北京大学)

(1人当たりの持ち時間は30分、発表：20分、質疑応答：10分)

**第5セッション (学生第2分科会)**

座長：伊藤秀明 (筑波大学)

今井信次「日本語／日本文化の波及に係るメディア・コンテンツの役割」  
(筑波大学)

岸清香「仏教論書解説小考—『阿毘達磨俱舍論』「破我品」の一説を通して—」  
(筑波大学)

ムラドワ・エーラ「中央アジアの日本語教育における文学の役割—文学的読解を行う際、日本語母語話者と日本語学習者の理解の違いに関する考察—」  
(筑波大学)

(1人当たりの持ち時間は30分、発表：20分、質疑応答：10分)

昼食 12:00~14:00 (暢春園)

午後 14:00~16:00

**第6セッション (学生第3分科会)**

座長：張恵芳 (筑波大学)

- 蔡 葶葳「日本語の結果継続表現が持つモダリティ性」(筑波大学)  
劉 健「『(一+V) する』型漢語動詞のアスペクトについて」(北京大学)  
樊 穎「意志・無意志両用動詞『見せる』への一考察」(北京大学)  
李 旖旎「『ところ』の意味拡張に関する認知的考察」(北京大学)  
(1人当たりの持ち時間は30分、発表：20分、質疑応答：10分)

#### 第7セッション(学生第4分科会)

- 座 長：楊文江(北京大学)  
伊藤秀明「「依頼」の理由・状況説明における語用論的知識—滞日期間の違いから—」(筑波大学)  
単 文垠「謝罪の対象行為に対する考察—日中対照の立場から—」(北京大学)  
上田 裕「中国語の発見表現に関する語用論的成立条件について—日本語・朝鮮語との対照から—」(筑波大学)  
張 桂珠「台湾客家語における判断を表す助動詞の選択基準」(筑波大学)  
(1人当たりの持ち時間は30分、発表：20分、質疑応答：10分)

学生交流会 17:00～